

用途	道路拡幅にともなうボックスカルバート新設基礎
工事名	平成18年度 市道348号線改良工事
工事場所	神奈川県伊勢原市東大竹地内
発注者	神奈川県 伊勢原市役所
施工時期	平成19年3月
杭形状	直杭 15.3m × 4本
杭延長	61.2m
鋼管仕様	API N-80 φ177.8 × 12.65t (設計: 10.36t)
標準鋼管長	2.0m
鉄筋仕様	SD345 D51
標準鉄筋長	5.0m
削孔方式	ロータリーパーカッション二重管方式
削孔機	クローラタイプ (RPD-130C) ショートブーム
空頭制限	なし
上層地盤	ローム・粘土
定着地盤	砂礫

工事の特長

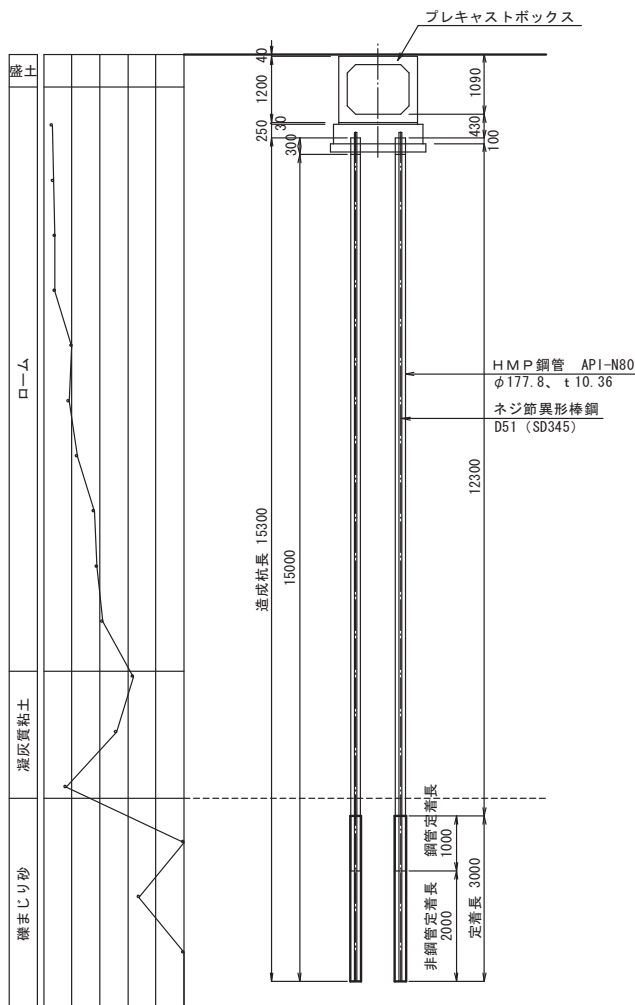
・市道348号の拡幅工事にともなう水路部(ボックスカルバート)の新設基礎が計画された際、工事箇所が住宅街に位置し、狭い進入路しか確保できない立地条件から、騒音・振動が少なく、小型機械の使用により既存交通の確保が可能な高耐久マイクロパイル工法が採用された。

・車道幅員約5.0mの現況道路に対して、杭を施工している日中は1.0mの歩行者通路を、作業終了後の夜間は、一般車両の通行を妨げないよう、3.0m以上の車道幅を確保してプラントを縦長に配置した。

・既設のカルバート撤去後の溝部は、杭の施工に影響を及ぼさない程度の最低限の埋戻しに留め、残りの部分を削孔泥水を溜める釜場として利用した。

・現地の土質は、上層は緩いロームで支持層が粒径の小さい砂礫であったため、削孔は容易であった。

概要図



施工状況写真

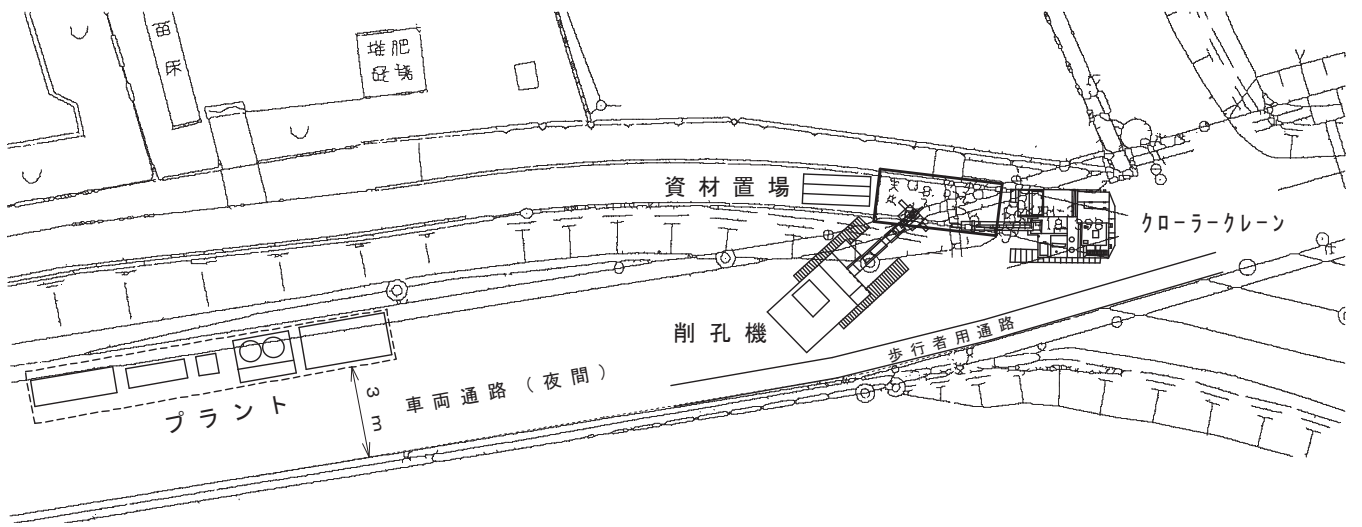


施工状況および現場全景



完成時全景

ヤード配置図



施工状況写真



着工前全景



プラント設備および車道幅の確保状況



施工状況および歩行者通路の確保状況



施工状況および歩行者通路の確保状況